

(2) 交通インフラの整備

島民の安全・安心の確保はもちろんのこと、国内外からの観光客を獲得する上で、佐渡空港の滑走路2千メートル化の早期実現が必要です。また、快適な旅行を提供するためには、航路や島内公共交通の利便性を高めることが重要です。

具体的には、滑走路2千メートル化では、県と連携して地権者全員の同意取得を目指します。

航路の利便性向上策では、カーフェリーの建造費を支援することにより、新造船が就航する平成26年春からの運賃値下げに反映させます。

また、北陸新幹線開業に向け、小木・直江津航路の変則ダイヤの解消や運航体制の改善、新幹線新駅から直江津港までのアクセスを関係機関と協議します。

主な事業

観光データ調査分析事業委託料	830万円
宿泊魅力向上事業委託料	670万円
着地型観光推進モデル事業	490万円
新潟DC・北陸新幹線開業誘客 宣伝事業補助金	2000万円
トキ政策推進事業	1441万円
離島航路船舶建造事業（繰越）	47億3640万円

過疎・少子高齢化に対応した地域づくり

(1) 高齢化集落対策

過疎・少子高齢化を止める即効薬がなく、住民がその土地の価値や行事を再認識することで自立できる処方箋が必要で、そのためには、支所等の充実や人材の確保・育成が重要です。

また、集落の環境保全活動等で労力が不足しており、労力の確保対策が必要であります。

具体的には、支所等の充実では、支所等の裁量により地域活動の支援や緊急的な要望等に機動的に対応する仕組みを構築します。さらに、支所等は地域の拠点となり、「地域のあした」という名の将来像を住民と一緒に考え、地域づくりに取り組んでいきます。

人材の確保・育成では、支所等を中核として地域活動支援員や地域おこし協力隊の配置を拡充します。また、外部有識者による研修会等を開催し、意欲ある地域リーダーの養成と地域活動を支援する中間支援組織の立上げを促進します。

労力の確保対策は、市が認定する「地域貢献地元企業」の協力を得て作業員労力等を支援します。

(2) 高齢者の生きがいづくり

今後とも加速が予測される超高齢化社会に対応するには、高齢者の生きがいづくりと健康づくりが必要です。また、一人暮らしの高齢者が増加しており、安心して暮らせる環境づくりが必要です。

あわせて、慢性的な医師等の不足が続いており、医療・福祉・介護体制の連携が必要です。

具体的には、高齢者の生きがいづくり対策については、高齢により直売所等への出荷が困難な農家を支援する庭先集荷の仕組みをつくります。また、市内ではあまり食されない山菜等を、中高齢者を中心とした地域住民と協力して首都圏等に出荷することにより一定の収入を得る仕組みをつくります。

健康づくり対策では、農業活動を中心とした働く仕組みの構築や、食生活改善と生活環境の違いによる元気度チェックの実施により、健康寿命を延ばします。また、介護保険施設でのボランティア活動に対してポイントを付与し換金できる介護保険ボランティアポイント制度を創設します。

高齢者等が安心して暮らせる環境づくりでは、特別養護老人ホームの

整備を推進するとともに、ユニット型個室の入所者居住費の負担軽減を図ります。また、障がい特性に合った多様な福祉サービスの拡充や就労継続支援事業所等の施設整備を支援します。

医療体制では、病院や薬局、介護施設が患者情報を共有し、安全・安心な医療を提供するシステム「さどひまわりネット」に市立病院も参画します。また、看護師不足対策として、住宅の家賃補助により島外からの看護師の確保に努めます。

福祉・介護体制では、介護施設の整備等で不足するヘルパー等の資格取得に対し支援を行い、福祉・介護現場の人材不足の解消を図ります。

(3) 子育て環境の整備

安心して子育てをできる環境づくりには、子育て世代の経済的・精神的な負担軽減策や教育環境等の整備が必要です。

具体的には、経済的な負担軽減策



高齢者の居場所づくり